

エコのことなら
僕にお任せ！



「とうかい環境村民会議」だより

Vol.23

環境活動を通じて、持続可能な社会の実現を目指す“エコレンジャー”——それが私たち「とうかい環境村民会議」です！ 私たちの活動をシリーズで紹介していきます。

【問い合わせ】環境政策課環境計画・緑化推進担当(☎282-1711 内線1454)



「小学生学習発表会」

環境フォーラム実行委員会

10回目を迎えた「小学生環境発表会」が2月13日、総合福祉センター「絆」で開催されました。今回は、舟石川小学校5年生による日ごろの環境活動についての報告と、サイエンスインストラクターの阿部清人さんによる「エコサイエンスショー」の、2部構成でした。

●第1部 舟石川小学校による環境学習発表

創立35周年を迎える舟石川小学校にある木々の、開校当時から現在までの成長の様子や、自然環境などを観察しながら、35年の間に村全体では自然環境が失われてきている様子などを学習しました。

「宇宙からの森林帝国軍グリーンペーダ」と題した劇では、自然環境の減少に警鐘を鳴らしながら、舟石川小学校の自然環境の豊かさを再確認するとともに、これからも自然環境を守っていくことを宣言しました。

続いて、村の特産品である“ぶどう”や“ほしいも”が、生産者の手によって丁寧に作られている様子や、自分たちの生活の中で実行している「マイはしキャンペーン」、「裏紙の再利用」などの取り組みの様子について紹介。さらに、昆虫などを守るために自然環境を守っていくことの大切さを伝えながら、人間と自然の共存を呼び掛けました。



ビニール袋を使った実験の様子

●第2部 阿部清人さんの「エコサイエンスショー」

身近なもの(ビニール袋、ペットボトル、下敷き、ドライヤーなど)を使って、3R(リユース、リデュース、リサイクル)の大切さを示しながら、「逆さにしても落ちない水」、「ペットボトルの空中浮遊実験」、「人力での発電実験」など、楽しい実験ショーを見せてくれました。

また、舟石川小学校の発表に関しては、環境に対して真正面から受け止め、調べたり取材をしたりしながら「マイはしキャンペーン」などの行動に結び付けていることなどに、賞賛の言葉を贈っていました。

みんなで考えよう 東海村の外来種-2

■オオクチバス(ブラックバス)

オオクチバスは北米を原産とする魚で、食用として移入されたものが各地に放流されて広まりました。バスフィッシングブームの影響もあり、村内でも複数のため池で生息が見られます。

繁殖力が強く食欲旺盛で、以前から生息している小魚類やエビ類、水生昆虫等を食べてしまうことから、生態系に大きな影響を及ぼすとして2005年に「特定外来種」に指定されました。オオクチバスの飼育や移動、放流をやめて、これ以上の増殖(繁殖)を抑え、在来の水生生物を大切に守っていきましょう。



押延ため池で捕獲されたオオクチバス